

Beside you

... あなたのそばに ...

CONTENTS

- P 2 **特集**
人に“伝わる”人と“繋がる”活動
「誰かのために」「何かのために」できる
ボランティア活動
- P 5 障がい者福祉の会・障害者社会参加交流事業
- P 6 ボランティアだより
- P 8 赤い羽根共同募金
- P 9 お知らせ
- P 10 老人クラブ・老人大学通信
- P 12 我が家のプチ自慢



特集

人伝わる人繋がる活動

「誰かのなすと」「何かのなすと」「みんなボランティア活動」



▲介護施設でボランティア活動を行なう様子（車椅子レクダンス大月支部）

全国では新型コロナウイルスのまん延をはじめ、様々な要因により、地域の繋がりの希薄化や孤立などが一層深刻になる中、一人ひとりの力だけでは解決することの難しい課題も多々生じてきています。これらの解決をめざす一助となるべく、多くのボランティア活動が取り組まれています。しかし、コロナ禍ではこれらの活動の場を失う、また活動を休止せざるを得なくなる状況となっています。

大月市でも、人と人が直接繋がりを持つのが困難な状況が続いています。これまでの「会って、集まって、つながって」きた活動が、突然「3密回避」などと制限されてしまったことに戸惑いながら、それでもボランティア活動や市民活動を止めないために、様々な努力が続けられています。

新型コロナウイルスで私たちの暮らしが大きく変わったように、ボランティア活動も変化しつつありますが、ボランティアの皆さんが大切にしてきた想いは変わらないと思います。

大月市社会福祉協議会は、これからも「感染防止をしながらでもやれることはあるよね!」と市民の皆さん、ボランティアの皆さんと工夫を凝らして活動していきます。

●ボランティア活動の種類・内容

「ボランティア活動」というと、どんな活動をイメージされますか？高齢者や障害者に関わる活動など、福祉的な活動が多いでしょうか？

ボランティア活動は「福祉から自然や環境、国際的な活動まで」その領域も広く、活動の種類も様々です。

仕事をしていたり、地域や団体の役員をされていたり、多忙を極めている方もいらっしゃるかもしれませんから、個々にそれぞれ参加しやすい活動を見つけてみましょう。

個人でもグループでも出来る活動はたくさんあります。ボランティア活動への参加により、社会とのつながりを得られ、生きがいを持ちやすくなると思います。

内閣府の発表した「令和3年版 高齢社会白書」によると、60歳代の約7割、70歳以上の5割弱が仕事かボランティアといった、何らかの活動をしているとのことでした。

このように、ボランティアへの参加ハードルは、決して高くはありませんので、興味を持って、自分に合ったボランティア活動をしてみてはいかがでしょうか。

山梨県内のボランティア情報については、様々な学習会や、今できるボランティア活動、行事のお知らせなどがありますので、インターネットで「やまなしNPO情

報ネット」と検索してご覧ください。

山梨県ボランティア・NPOセンター
「やまなしNPO情報ネット」

<http://www.yamanashi-nponet.jp/>



▲子育てサロンわいわい

○ボランティア活動とは

ボランティア活動の明確な定義はありませんが、「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」とされています。そして、特徴として「自主性・主体性」、「社会性・連帯性」、「創造性・先駆性」、「無償性・無給性」があげられます。

ボランティア活動は、自分の関心のあるテーマ、自分にできることから始められるという身近な活動です。そして、活動する人が自己実現をはかる活動であるだけでなく、活動を通してボランティア活動や社会貢献、福祉活動等への関心が高まり、ともに支え合う地域社会づくり、共生社会の実現につながることも期待されます。

ボランティア活動は、地域や社会をより良くしていくことに役立つとともに、活動する自分自身も豊かにしてくれる力を持っています。

○ボランティアの4つの原則

- ① 自主性・主体性
他から強制されるのではなく、自分の意志で積極的に行う活動。
- ② 社会性・連帯性
誰もが安心して豊かに暮らしていけるように、お互いに支えあい、学びあう活動。
- ③ 創造性・先駆性
今、社会では何が必要とされているのかを考えながら、よりよい社会を自分たちで創る活動。
- ④ 無償性・無給性
報酬を求める活動ではなく、社会貢献ができた価値観が広がり、お金では得られない様々な方との出会いや感動、喜びを得られる活動。

○活動の種類 (市内での活動団体)

1. 支援を必要としている人に寄り添う活動
一人暮らしの高齢者、障害のある人を対象とした生活支援活動や見守り活動、子育て中の家族の交流の場づくりや、地域で孤立しがちな人のための居場所(サロン)の提供、身体の不自由な人のコミュニケーション支援活動など
- (おおつきお助け隊・子育てサロンわいわい・傾聴ボランティアつくさの会・点字サークル八重桜会・手話サークル山百合・手話で楽しむ会・レインボー・音訳サークル聲・朗読ボランティア如月の会・日本車椅子レクダンス大月支部・街中カフェまどい・わんにゃん隊など)
2. 子供や青少年等を対象とした活動
レクリエーション活動、スポーツ教室、野外キャンプの指導、学習支援、子ども電話相談子どもたちの学びや遊びの支援、こども食堂の開設など
- (大月市レクリエーション協会・ちゃんオールデイズ・あかいくつ・童謡サークル・いずみ会、琴・三味線・尺八・大正琴演奏など)
3. 災害で被災した方を支援する活動
被災地での活動(家屋の片づけ等、困りごとへの対応、被災者の交流等の支援、コミュニティの再生支援など)被災地外での活動(募金、広域避難者の支援など)
(DPLS-JAPAN・個人ボランティアなど)
4. 地域活性化をめざした活動
仲間づくり活動、交流イベントの開催、スポー

ツ・地域行事の運営支援、地域の交流の場・居場所(サロン)づくり活動など

(地区ボランティア協議会・いきいきサロンボランティアなど)

5. 自然や環境を守るための活動
森林や河川の清掃・環境保護活動、リサイクル活動、動物保護など

(シオジ森の学校・観光ボランティアガイド協議会・おいわけ清流会・山梨ねごボランティアネットワークなど)

6. 芸術・文化
美術館や博物館での活動、伝統文化の継承・普及など

7. 安心・安全なまちづくり
悪質商法からの被害防止、防犯、交通安全など

8. 国際交流・国際協力・多文化共生
多文化共生、在留外国人・外国にルーツのある人への支援活動・交流活動、支援が必要な海外の国や地域への援助、災害時の支援活動など

9. その他
募金活動、PCを活用したコミュニケーションの支援(パソコンの設定や操作指導)、路上生活者への支援など

☆大月市社会福祉協議会(大月市ボランティアセンター)にて把握していない活動をされている方も多数おられます。上記以外の活動・登録など、ぜひ情報をお寄せください。

○ボランティア活動の5つのポイント

- ・ポイント1 興味や関心がある身近なことから始めよう!長く続けられる活動をする為に
- ・ポイント2 無理のない活動を!家族や職場の理解を得る
- ・ポイント3 約束やルールは必ず守ろう!ボランティアにも「守秘義務」がある
- ・ポイント4 相手や関係者の立場を尊重しよう!支援される側の気持ちを尊重する
- ・ポイント5 ボランティア活動保険にご加入ください!

注意していても、ボランティア活動中に事故が起こってしまうこともあります。万一の備えとしてボランティア活動保険にご加入ください。保険は活動時のケガや事故に対するリスクに備えることができます。自らを守ることだけでなく、活動の対象者の安心にもつながります。ボランティア活動保険は低額で加入できます(詳細はNo110号・4月号をご覧ください)。お申し込みは社会福祉協議会(ボランティアセンター)までお問い合わせください。



▲ウェルネスパーク清掃

「障がい者福祉の会防災研修会」 8/20(土)

大月市障がい者福祉の会では、市内に住む障がい児者とそのご家族が災害時に困ることがないように、自ら備え心構えを持てるように、「防災研修会」を開催しました。コロナ禍のため、人数を制限する中で行いましたが、自分の身と家族を案じ、意欲的にご参加いただきました。市の防災行革担当職員2名を招き、市内の被害想定や備えについて講義をいただきました。

また、後半は実技として避難所で使用される間仕切りパーテーションの組み立て体験をしました。1つの区画は意外と広く感じましたが、家から持ち出したリュックや座布団を敷いたとしたら何人が横になれるのか等、様々な考えや悩みが飛び出しました。市職員には多くの意見や質問に丁寧に答えていただき、防災訓練時期を前に有意義な時間となりました。まずは「自分と家族の命を守るために」準備をしましょう。



障害者社会参加交流事業

「ぐーちよきぱー」 7/2(土)

大月市社会福祉協議会では、障害児者が誰でも参加できる交流の場として「ぐーちよきぱー」を開催しています。コロナ禍となり、2年ぶりの開催は「リズムに合わせて体を動かそう!」と題し、講師に「お気軽フィットネス」の浜田純一先生をお迎えして楽しく1時間を過ごすことができました。

参加者の皆さんは「久しぶりだねえ」「元気だった?」とお会いできる喜びを語り合っていました。浜田先生の講評は、「2年ぶりの体操。イベントなども中止で体の動きがにぶくなっている方もいる。定期的な運動が必要だね」とのことでした。

今回は遠足を予定しています。保護者付添いのもと、多くの方にご参加いただきたいと思えます。興味のある方は、ぜひ連絡くださいね。



ボランティアだより

No.77

七保小学校

「福祉講話」

6月23日

毎年、七保小学校の4年生は福祉講話として、福祉教育の学習をしています。

今年の4年生5名は、「高齢者疑似体験」「パラスポーツボッチャ」を体験しました。

高齢者ってどんな人たちのことかな、障害者ってどんな体の症状があるのかな、と想像し、その体験をしていただきました。

高齢者疑似体験では、二人一組となり、手足にももりを付け、軍手、白内障、ゴーグルなどの装具をつけた上で、封筒に入った文章を読み、介助者とともにミッションをクリアして教室に戻ってくる体験を交互に行いました。装具を身に着けることから協力し合い、手をつなぎ誘導するなどしてお互いに助け合いながらの授業となりました。若い人にとっては何気ない、封筒を開ける、細かい字を読む、階段を降りる、靴を履く、雑草を取るといった日常生活の動作が、高齢者には困難だという事を体験しました。

介助しているペアの児童も、「え？これが見えないの？本当に距離、わからないの？」と不思議そうにしながらも、手を添え相手を支えている自信と「ありがとう」と感謝されることに嬉しそうな表情を浮かべていました。

また、障害者については、目に見える障害、見えない障害があること、コミュニケーション手段にはどのようなものがあるのか、小学生が理解するためにどんなツールや見学施設があるのかなどを一緒に考えました。

最後は、重度脳性麻痺・四肢重度障害のある方のために考案されたパラスポーツ「ボッチャ」体験。これは、昨年夏のパラスポーツをテレビ観戦していた児童もいて、戦術を考えながらチームワーク良くゲームを進め、楽しく競技することができました。

これらの体験をすることで高齢者・障害者を理解し、相手の立場に立って考えることの「気づき」の場になるかと思えます。いずれ、誰もが高齢者となるのです。ご家族や地域の方々、障害者を含むすべての人々に、助け合いの心、思いやりの心を持って地域活動に参加できる人に成長されることを願っています。



---児童の感想---

- ・腕が重くて大変でした。階段を上がるのはすごく大変でした。だから困っている人がいたら手を貸してあげたいです。
- ・小さい字が読めなくて、図書室で本を探すのが大変でした。
- ・オレンジなどの目立つ色は見やすく、周りと同じ色のはみにくかったです。
- ・座って右足、左足と順番に靴を履かなきゃいけなくて大変でした。だから助けてくれる人は必要だと思いました。
- ・友達か手を貸してくれて、階段の数を教えてくれたので安心して歩きました。スロープがあればいいのと思いました。



ありがとうございます ご寄付の報告

●寄附金
大月を良くしよう市民の会 13,722円/
遊友会 25,007円 (敬称略)

大月市ボランティアセンター
(大月市社会福祉協議会内)
大月町花咲10
(大月市総合福祉センター)
電話:0554-23-2001



▲表彰式の様子（大月市総合福祉センター）

お知らせ

第47回

大月市地域福祉推進大会

を開催します！

日時 11月26日（土）

午後1時30分～午後3時30分

会場 大月市民会館（予定）

「誰もが住みやすく安心して暮らせるまちづくり」をめざし、地域福祉を推進するべく、第47回大月市地域福祉推進大会を開催します。

ここ2年間は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大月市総合福祉センターで表彰式のみを開催していましたが、本年度は、大月市民会館で表彰式と講演会を実施する予定です。

講演会では、「コロナ禍における地域の支えあいについて考える」機会となるような内容を予定しています。

皆様、ぜひ足をお運びください！

（※新型コロナウイルス感染拡大等の場合、会場や内容等を変更することもあります。）

●お問い合わせ先

大月市社会福祉協議会 総務担当

電話 2312001代

ツキフェス22・福祉バザーの開催中止について

大月市社協における秋の三大事業のうちの、ツキフェス22並びにふれあい福祉バザーにつきましては、新型コロナウイルス感染の防止対策を講じて実施することが出来るかどうか検討しましたが、密を避けることが困難であることなどの理由から、大変残念ではありますが、本年度も開催を中止することといたしました。

また、来年度、開催の際には、多くの皆様のご参加とご協力を宜しくお願いいたします。

令和4年度

赤い羽根共同募金運動

10月1日から始まります！

皆様のご協力をお願いします！

●大月市の目標額
5,718,000円

● どうして目標額があるの？

赤い羽根共同募金は、寄せられた募金を助成先などに単純に分配しているわけではありません。地域福祉を進めるために、どれくらい募金が集まれば必要な事業を行うことができるかあらかじめ計画を立て、それに基づいて目標額を設定し、募金活動を行います。そのため目標額は、最小限度の必要額となります。

●募金の使い道は？

昨年、大月市でご協力いただいた募金総額は、5,688,016円であり、このうち約7割は今年度の大月市に配分され、残りの約3割は山梨県内の福祉活動などに役立てられています。

大月市では…

- ・老人憩いの家備品整備・修繕事業
 - ・地区社協活動推進事業
 - ・いきいきサロン助成事業
 - ・ボランティアサークル等育成事業
 - ・社協だより発行事業
 - ・ファーストスプーン事業
- など地域の福祉活動に使われています。



山梨県では…

- ・県内福祉施設への助成
 - ・赤い羽根共同募金啓発活動事業
 - ・被災者支援金（災害義援金など）
- など山梨県全域及び全国の被災地など広域で使われています。

また、最近ではコロナ禍により課題に直面している人々を支援する全国キャンペーンに参加するとともに、深刻さが増している子どもの貧困などの支援にも使われています。



赤い羽根共同募金は

大月市をよくするしくみであり

大月の地域福祉活動を支える力になります！

ウクライナに人道支援金を

大月市老人クラブ連合会は、令和4年6月13日(月)に日本赤十字社山梨県支部を訪問し、大月市単位老人クラブ(59単位)より寄せられた支援金をお渡ししました。島山哲会長が、「ウクライナの方々のためのお役に立てたい、また一日も早く戦争が終結し、平和な生活に戻られることを願っています。」と会員の皆様からのお気持ちを、お伝えしました。

吉原美幸事務局長からは、「皆さまのご厚意に感謝します。日本赤十字社本部(東京)からウクライナに送金させていただきます。」とのお言葉をいただきました。



ゲートボール大会

晴天の中、楽しく親睦を深めました

7月7日(木)、令和4年度大月市老人クラブ連合会「ゲートボール大会」を開催しました。

開会式では、島山会長と小林信保大月市長が、「いつまでもお元気でゲートボールを楽しんでください」と挨拶があり、参加者は感染対策を万全にしなから、熱戦を繰り広げました。

◆順位発表…1位 宮谷チーム・2位 林チーム
2チームは、「いきいき山梨ねりんピック2022」に出場する予定となっています。

県大会での皆様のご活躍をお祈りしております。



▲90才以上の選手を表彰

大月市老人大学「発表会・展示会」

大月市老人大学は令和4年7月21日(木)～23日(土)まで大月市民会館を会場に学生の発表会・展示会を開催しました。コロナ禍となり、発表会・展示会は2年ぶり開催となり、やっと発表の場がもてることとなりました。

老人大学生228名18サークルが、日々学習に励んできた成果を発表部門と展示部門に別れ、感染対策を徹底しながらの実施となりました。

参加した学生からは「2年ぶりの発表会で緊張した」「展示が出来て良かった」など、喜びの声が聞かれました。

「大月市老人大学」は生涯学習の場として、市内在中で60歳以上の方はどなたでも入学できます。常時、入学申請を受け付けています。お気軽に事務局までご連絡ください。

事務局

大月市社会福祉協議会 地域福祉担当 老人クラブ・老人大学事務局

TEL 0554-23-2001



「シリコンオープナー」寄贈

大月市老人大学では、9月6日(水)に「大月市保健活動推進員会」より「シリコンオープナー」をご寄附いただきました。

尾形政代会長から、大月市保健活動推進員会の活動の間に会員81名の方が作成してくださったとうかがい、小林勝子顧問と大石和子副会長から「シリコンオープナー」の使用について説明を受けました。

これは、ペットボトルのキャップ開閉や、缶切りなどの作業が安全で簡単に使用でき、「高齢者にはありがたい」といった声がありました。

最後に、島山哲理事長が、「大切に使用させていただきます。誠にありがとうございます。」と学生一同の気持ちを、お礼の言葉として伝えました。





ご存じですか？社協のマーク？
このマークは、社協の「社」を
図案化し、「手をとりあって、
明るくいしあわせな社会を建設す
る姿」を表現しています。

新コーナー

「我が家のプチ自慢」を募集します！！

みなさんの家のプチ自慢を社協だよりに掲載しませんか？家族、ペット、庭、料理、特技、お宝など、なんでも結構です。みなさんからの応募をお待ちしています。

(例) 我が家の自慢のペット、こんなに大きな野菜が採れたよ！、自慢の笑顔など…。

○応募方法

氏名、住所、連絡先（日中連絡のとれる電話番号）、コメント（50字以内）、写真（画像）をメールで送信してください。メールタイトルは、「我が家のプチ自慢」をお願いします。また、取材に伺うことも可能ですので、ご連絡下さい。

○応募先・問い合わせ先

メールアドレス fureai@otsuki-shakyo.jp
総務担当 Tel 0 5 5 4 - 2 3 - 2 0 0 1

<< 編集後記 >>

6月下旬からの猛暑で始まった夏も過ぎ、朝晩の涼しさに秋の訪れを感じます。

さて、今号には、新コーナー「我が家のプチ自慢」を掲載させていただきました。たくさんの方に社協だよりを手にとっていただけることを願っています。また、引き続き「おおつきで頑張る若者」も募集していますので、みなさんからの応募をお待ちしています。今号もお読みいただきありがとうございました。

(総務担当 安藤 史江)



この「社会福祉・ボランティアだより」の発行費用の一部は共同募金の配分金が使われています。

我が家のプチ自慢

今回は社協職員の自慢のペットを紹介します。



安藤すずちゃん（賑岡町）
（イタリアングレーハウンド 10ヶ月）

特技はぴよぴよ跳ねることとおもちゃを壊すこと。ちょっぴり犬見知りなシャイガールです。



上条アルファくん（賑岡町）
（トイプードル 9ヶ月）

いたずら盛りで家族泣かせ。でも人好き犬好きでいつでもしっぽフリフリ♪なαです。

今すぐアクセス！

大月市社協

検索

事務局

〒401-0015 大月市大月町花咲 10 番地 総合福祉センター 1 階

電話 0554-23-2001 (代) FAX0554-22-2861

心配ごと相談・大月市ボランティアセンター・在宅介護支援センター「花さき相談室」
介護プラン「花さき」・ヘルパーステーション「花さき」

デイサービスセンター「やまゆり」

〒409-0501

大月市富浜町宮谷 1518 番地 1

電話 0554-20-1130 FAX0554-20-1132

ホームページ：<http://www.otsuki-shakyo.jp/>

メールアドレス：fureai@otsuki-shakyo.jp